

## 第14回 山県市子ども・子育て会議

日時 令和2年9月17日(木) 午後3時00分～4時40分

場所 山県市保健福祉ふれあいセンター 3階ボランティア室

議題 1. 子ども・子育て支援の施策展開における進捗状況・評価について  
2. その他

配布資料 資料1 子ども・子育て支援事業計画の実績一覧表(平成29年度次世代育成支援行動計画継承施策事業実施報告)

資料2 子ども・子育て支援の施策展開における進捗状況・評価報告書

資料3 子育て支援事業等に関する報告事項等について

出席委員 三輪 聖子 委員 岐阜女子大学 家政学部生活科学科 教授

中原 春奈 委員 市PTA連合会代表

柏木 満美子 委員 児童養護施設若松学園代表

前田 恵津子 委員 民児協主任児童委員代表

松原 茂 委員 小中学校校長会長(大桑小学校)

河野 隆 委員 はなぞの北幼稚園長

恩田 重子 委員 保育園長会代表(みやま保育園)

管野 さやか 委員 公募による市民

日置 智夫 委員 学校教育課長

田村 恵子 委員 子どもげんきはうす代表

丹羽 洋子 委員 高富児童館館長兼子育て支援センター所長

加藤 法子 委員 子育て世代包括支援センター所長

欠席委員 伊藤 珠里 委員 保育園保護者会代表(高富保育園)

傍聴人 0人

事務局 子育て支援課 課長 久保田 裕司

子育て支援課 主幹 高井 俊哉

子育て支援課 課長補佐 山田 佐知子

子育て支援課 係長 正治 裕樹

子育て支援課 主査 丹羽 仁美

子育て支援課 主事 大野 殊美

### 1. 開会

事務局	それでは定刻になりましたので、ただいまから第14回山県市子ども・子育て会議を開催させていただきます。 私、子育て支援課長の久保田と申します。よろしくお願ひ致します。
-----	---

## 2. 委嘱状及び任命書の交付

事務局	<p>会議に先立ちまして、市長から委嘱状の交付をさせていただきます。私が席順（時計回り）によりお名前をお呼びいたしますので、市長がお席の前まで参りますのでその場でご起立いただきお受け取り下さい。なお職員についてはあらかじめ机の上に置かせていただいておりますので省略をさせていただきます。</p> <p>委嘱状交付</p> <p>以上でございます。レジメの裏側に皆様方の名簿をつけさせていただいております。市の職員については名簿のとおりであります。本日、伊藤珠里様ですが、欠席と連絡を受けておりますのでよろしくお願ひします。なお、都合のため会議途中で退席される方もありますのでご配慮お願ひします。</p>
-----	---

## 3. 市長あいさつ

事務局	<p>それでは市長の方からごあいさつ申し上げます。</p>
市長	<p>改めまして皆様こんにちは。ただいまは皆様に子ども・子育て会議委員の委嘱をさせていただきました。また今回交付させていただきましたみなさんは新しい方、また前回に引き続き 2 期目の委嘱をさせていただきました方もあり、よろしくお願ひいたします。子ども・子育て会議と申しますが、平成 24 年に子ども・子育て関連 3 法が、国で交付され、山縣市といたしまして、26 年 2 月にこの会を設置いたしまして、山縣市子ども・子育て支援事業計画、27 年から 31 年までの今回計画を進めていただいたわけでございます。そうして中で議事にありますように、施策の展開における進捗状況・評価についてということで今日いろいろ検討いただく訳でございます。今年度特にいくつかの子ども達に対する支援ですとか、新しい施策が取り入れられていますので少し説明をさせていただきます。一つ目と従来から検討している保育園民営化に関する計画ということで、今回この 9 月議会にも、山縣市の市立保育園の民営化指針（案）ということで提案させていただき、パブコメをいただきながら、2 年なり 3 年かけて民営化を進めていきたいと考えています。また、安定した未満児保育の実現のためということで小規模の保育の研究も取り入れていきたい、そういつて施設も条件により整えていきたいと考えています。そしてコロナ禍の時代でございますので、保育所の中で ICT 化といひますか、保護者とのやりとりしている連絡帳を ICT 化して一部進んでおりました、非常に好評で保護者のみなさんも保育園の先生達も初めは戸惑いがあつたようですが、非常に進んでおります。また県内の公立保育園では初</p>

	<p>めてだったと思いますが、周りの市町村からそういった問い合わせがきているという事で、特に国の方では新しい内閣が発足いたしまして、デジタル担当大臣ができて、特にこういった施策が一気に進んでいくのではないかと考えています。またコロナ対策としまして、学校もそうですが、保育園、庁舎の中もそうですがパーティションですとか、手洗い・消毒ですとかウイズコロナという形で取り組んでいかなければならないと思いますし、今日もここに来る前に、ある大学の先生のコロナに関する講演を聞いてきましたが、その先生の言葉をかりると共生をしていく、人類はそもそも感染症・ウイルスとの戦いですから、そういったものが毒性のあるウイルスと毒性のないウイルス、ウイルスもですね、人間の体に宿って殺してしまうと自分も存在できないということで、今の新型コロナウイルスの進化はですね、毒性を弱めて移りやすくするのが進化だそうです。そういった状況、第二波についてもそういった状況がみられるという話を聞きました。特に感染症ということで日本の国内におきましてもIT化の進捗が非常に諸外国、先進国に比べると比較すると決して進んでいない。特にFAXなんていうものは、もう諸外国では使っていない、一昔前の機械だという認識でのごさいました。そんなIT化の進む中で子どもたちへの物的な支援ですとか、物理的な支援ですとかそうしたソフト的な官民あげて関われる方に関わっていただいて、いかに地域の中で子どもたちを育てていく社会が育てていくという環境を作らなければいけない。今、少子化が非常に進んでいまして今日のお話の中で、ある表が示されまして人口の推計が、2100年になると今2020年ですが、大体6000万、今の人口の半分になるというあつという間の戦後70数年たちましてまたそれと同じくらいで今の人口が半分になるという大きな変革の時代でありますけれども、そういった時代においても子育ては基本中の基本の政策的な理念でございまして、そういった一翼を皆様方に担っていただくこととなりますので、よろしく願い申し上げまして簡単ではございますが、就任いただきました皆様に感謝を申し上げましてご挨拶とさせていただきます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。申し訳ありませんが、市長他の公務がございまして、中座をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p>
市長	<p>失礼いたします。よろしくお願いいたします。(市長退席)</p>
事務局	<p>それでは会議の方に入りたいのですが、本日は新しい委員さんの皆さんで1回目と言うことで、委員さんの中には、ベテランの方、初めての方お見えになりますので、私どもからこの会議はどういうものかというのをご説明申し上げたいと思います。</p>

<p>～子ども・子育て会議について、規則により説明～</p> <p>レジメの4番目、会長・副会長の選出についてとなっております。初めて顔をご覧になる方もいると思いますので、恐縮ですが各委員の皆様から簡単に自己紹介をお願いしたいと思います。レジメの裏側に名簿がついてございますので、名簿順に上の方から簡単に結構ですので自己紹介をお願い致します。まず三輪聖子様からお願い致します。</p> <p>～委員・事務局の自己紹介～</p>
---

#### 4. 会長・副会長の選出について

事務局	さっそく会長・副会長の選出につきまして、ご意見がありましたらどうかお願い致します。
委員	引き続きではありますが、会長を三輪先生、副会長を柏木先生にお願いしたいと思います。
事務局	ただいま、委員の方から、前回と一緒になるのかな、ベテランの三輪先生と柏木先生でという事ですが、皆さま意見、賛同があれば拍手を持ってお願いします。皆さん拍手されました。よろしいですか。それでは、会長は三輪聖子様、副会長は柏木満美子様決定されました。ではお二方からそれぞれご挨拶いただいて、そのあと三輪会長が議長となっていて進行的方をよろしくをお願いしたいと思います。まず挨拶からお願いします。
三輪会長	先程自己紹介させていただきましたけど岐阜女子大学の三輪と申します。前回のところも一応議長をやらせていただいております、皆様方のかく本当に些細なことで結構ですので自分が感じたことや思った事を出していただいてそれをみんなで議論して市の方へ出して考えていただくということで、意義あるものにしていきたいと思っておりますのでどうぞ協力をよろしくをお願いいたします。
柏木副会長	若松学園の柏木でございます。この会議についてですが、子どもたちの子育て支援ということで、それぞれ発達に応じた支援をしていくということで皆様のお知恵をお借りして頑張る前向きにやっていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。
事務局	それでは会長よろしく申し上げます。

## 5. 議事

事務局	<p>会長からも話がありましたけれども私どももなるべく説明は簡潔にします。ご覧いただきますように幅広いです。だから子育てについて間接的に関わるようことでも、こんなこと聞いたらピント外れかなと思わずにいろんな多方面から遠慮無しにご発言いただければと思います。たくさんありますので皆さんのご意見いただきたいので、先ほど打ち合わせしていたのですが、ほんとかいつまんで、と、今お配りしました計画は新しい計画になっておりまして、これ実は前の時の計画で若干粗相があって前のやつを配ろうかと思っただけなのですが前のものが変更あって見にくいものですからこの資料元にしてご覧いただいてご意見いただければと思います。主幹のほうから説明させていただきます。</p> <p>～資料 1 について説明～</p> <p>どうでしょうか議長、資料 1 と資料 2 一緒の方がいいですか、</p> <p>議長：その方がいいですね</p> <p>事務局：～資料 2 について説明～</p> <p>議長：すみません、これだけのものを蕩々と説明して理解するのはなかなか一般の人は難しくて本当であれば事前に資料は送付してご覧いただいた上でご参加いただくのが筋だとは思っているのですが、今回第 1 回目という事もありまして当日の配布になりまして大変恐縮です。この場ではもちろんですが、以降も疑問な点とかご意見あれば承りたいと思っておりますので、今回はこの日のこの場でいうことで次回以降は事前にお送りしますのでご了承いただきたいと存じます。それともう一点だけ市長が挨拶で言わなかったのが、ちょうど昨日議会がありまして最新情報と言うことで皆様方に情報提供ですけど、二つほど市長が宣言しておいたのが、インフルエンザ、今コロナ禍にあってインフルエンザとの併用は怖いということ、インフルエンザのワクチンを打ちたいということもありまして、その接種で無料ではないのですが、実は子どもさんと妊婦さん、高齢者もそうですが 1 コインですなわち 500 円ですね 500 円だけご負担いただければあとはそれで予防接種が受けるようにと、詰めているところなんです。それからもう一つ直接関係ないかもしれませんが、今出産祝金ということで第 1 子第 2 子のお子さんについては生まれると今日もお渡ししましたけど 10 万円のまちづくり振興券 1000 円を 100 枚お渡ししておるんですけど、第 3 子以降になるとそれ 2 セットになって 20 万円分、それで定額給付金で 4 月 26 日までに生まれたお子さんは 10 万円国の方からもらったのですが、4 月 27 日に生まれた子は 0 かという</p>
-----	---

	<p>話もあって、こんなコロナ禍ですので、今年度に生まれた子については10万円をお支払い、現金で市の制度になりますが、国の補助金使いますけどそんなようなことやろうということで昨日市長宣言しておりますのでそんなことを考えているよってということで一応提供させていただきました。</p>
議長	<p>はい、ありがとうございました。今、資料1資料2、資料2は具体的な内容になると思いますが、非常にたくさんの事業の説明があり、なかなか理解するのが大変だと思うのですが、今ご説明のあったところで何かご不明の点だとか聞いておきたいことありましたら、どうぞご意見出していきたいと思います。</p>
委員	<p>すみません、あんまりよくわかっていないので、はあ??という質問だったら申し訳ないですけど、今説明いただいた中で、自分が保護者であるという立場で周りの人間関係だとか子どもたちを見ていて思っている事としては、幸せか?っていうところなのですが、一生懸命関わって下さる大人の方とか、放課後児童クラブとかうちの息子も利用させていただいたりして、その中ですごくたくさん自分も今まで利用してきた事業があるのですが、思春期保健とか話が出ていたと思うのですが、小学校とかの子どもたちが幸せを感じているかところがすごい気になっていて行政としてそういったところにアクセスする事業とか取り組みっていうことがあるのかどうかなってのが、ふわっとしているのですが知りたいなど。</p>
議長	<p>子どもの心の問題ですか?</p>
委員	<p>そうですね、子どもなのですが、この子育て会議という事でとらえると、子どもの幸せって多分親も幸せじゃないと、幸せじゃないというとかいう話になってくると思うのですが、なんか離婚とか一人親世帯とか増えてきているその背景にそういうものがあるのかなと思っていて、そういうことに対してなかなか難しいかなとは思いますが、この事業の中で何かやっている事とかあるのかなっていうことを思います。</p>
事務局	<p>まず前段として、今説明しました資料2の中で、いろんな事業名があると思うのですが、どんな事業かわからずに今お聞きになられていると思いますので、この冊子のP17に事業の説明がすべて羅列されていますのでおのこのページ細かく説明されていますので、もしわからなければこれを見ながらご理解いただければと思います。</p>
事務局	<p>今お尋ねになった事とは違うと思うのですが、結論で言うと幸せを感じられるようなそういう積極的な施策は私はやれていないじゃないかと思っています。ただおっしゃられるように子どもの幸せ・親の幸せ一番人</p>

	<p>間で最も大切なことで、一頃そんなに裕福でないブータンが世界一幸せな国という、考え方なのですよね、多分多様なチャンネルの事で、私、職員に向けて言っているのは、コロナ禍なので運が悪いとかではなくってポジティブに考えて私ども実習生が来るのですけど本来なら例えば市民の方と直接接するような実習ができる所が今回できてない部分もあるのですけど、さっき貴重な体験やっていうことでポジティブにとらえてって事で。放課後児童クラブの責任者も私なっているのですけどこの4月にきて3密避けてうつらないよう感染予防でこじんまりこじんまりして子どもさん達のびのびできない姿を見て私も心苦しうって手探り状態であるのですが、なんとか現場の方では学校の方はどうやって関わっているかわかりませんが、いい方向に考えるように努めるのは専門のセクションはないのですが、私どもの保健師なんかでも産婦さんと妊婦さんとかにそういう働きかけをするようにしているし、特にコロナ禍でおっしゃられるように子どもさんが当然ストレスを抱えて親御さんもすごくストレス抱えていて全国的にもこれから自殺が増えるのではないかとメンタル??が増えるのではないのかとか多様なチャンネルの中では、そういう風にサポートしていきたいなあと思っているのですが、専門で窓口を・・・いう事はなくって、今年スタッフの中に臨床心理士を交えてやるようにするのですが、ここへ来れば全てがいいよっていう市にはなっていないので、申し訳ないなあと思っていますが、必要に応じてつなぐようには努力しますが・・・すみません、答えになっていないかもしれませんが。</p>
<p>委員</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p>
<p>事務局</p>	<p>実はですが、利用者支援事業というのをここで説明されているのですけど、それが、今、委員が説明されたお子さんとかお母さんの幸せをどういう風に作っていくか笑顔にどういう風に変えていくかという事業の一端でありまして、これあの包括支援センターというのが山口市にはございまして、これは生まれる前から18歳のお子様までのケアをしながらお母さんと子どもを見守って行くっていう事業ですけど、まさに高富児童館と子育て支援課が連携して作っているセクションがありますので、こちらの方にまずはご相談していただければ、いろんな課やいろんなパターン必要なところに回していただける課になりますので、まずは、隣の座っている丹羽館長と加藤所長のどちらかに窓口としてご相談いただければ、お子様の悩みから笑顔に変えるような利用者支援につなげて事業になりますので、ご活用いただければということと、まだあまり知られていませんのでこの場を通じて皆さんにどんどんご紹介していただ</p>

	ればと思います。
議長	委員の方から何かありませんか
委員	<p>今、利用者支援という事でお話があったのですが、なるべく利用者支援としてはお母さん方のニーズであったりしてそういう要望なんかを上手に拾えるように、児童館に来るお母さん達もそうですけど、どうやったらそういうニーズを拾えるか声を拾えるかということは一所懸命やっていきたいと考えています。それでちょうどこの6月にインターネットを利用してコロナ禍のお母さん達親子の状況はどんな風ですかというアンケートを取らせていただいたのですが、先ほど課長さんからの話がありましたけど、コロナ禍自粛生活が終わって、6月にアンケート取ったのでどういう風に過ごしていましたか？と問いましたらその中でうれしかった事、コロナ禍であってうれしかった事、困った事というようなことを問いました。うれしかった事の中には、自粛生活の中で思いがけず子どもとの過ごす時間をすごく長く持てて思いがけない時間で過ごせたっていう声が多くありました。で、もちろん同じくらいずっと1日中家の中で子どもといるのがつらかったっていう声もありました。そういうのを受けながら利用者支援としてはどういう風にお母さん達に対応していけばいいのか保護者の方に対応していけばいいのか、どういうことをやっていけばいいのかって事は、考えていくようにしています。今後もウイズコロナという時、時代にさらにお母さん方がどういう風に考えているのか、感染が怖くてなかなか出られないっていうお母さん達もいらっしゃると思いますので、そういう生の声っていうのをなるべく多く聞けるような体制を持ちながら活動をして行きたいと考えています。</p>
議長	<p>なんかこうなぜ幸福っていうところに思われたのか、なんていうかふわっとしているっておっしゃったのですが、気持ちがいった理由は何ですか？</p>
委員	<p>時間のない中、いっぱい取ってもらって申し訳ないのですが、小学校とかに去年とかけっこう何回も何回も見にいかせていただいたりとか、月に1~2回の頻度で息子のクラスの授業を見に行くっていうことをやっていたのですが、何かその中でこういう支援いろいろな支援があるのに、みんな一所懸命やっているのに、何か変なサインを出しているっていう子ってやっぱりいっぱいいるなってすごく感じて、そういうところの取組みを何かしていたりとか疑問に思っていて、今、お話を聞いていて実務的な部分はすごくあると思うのですが、そういう部分の話はあまりないなあと思ったので、ちょっと聞いてみたいなあと思って。</p>



議長	貴重なご意見ありがとうございます。本当に子どもがどう感じているか計り知れないところがあってつらいだとか苦しいだとか声に出してくれればその心が出てくれるのですが、何かそれはいえなくてずっと心の中に思っていて頭が痛いとかおなか痛いかいような所で発信してくるというのもあるでしょう。まあなかなかそれをどういう風に吸い上げて支えていったらいいか難しいところだと思うのですが身近にいる人子どもの近くにいる人がやっぱりそれをサポートしていかなくちゃ行けないのだろうという気持ちです。他にはどうでしょう？
委員	今の委員さんの話でリンクするのもわかりませんが、サポート・サポートという声がよく出ているのですが、ちなみにこのファミリーサポートセンター事業という項目がありますよね、これの令和元年度のその具体的なこうやりましたという内容的なものお示しできますか。
議長	委員お願いします。
委員	高富児童館がファミリーサポート事業の事務局となっております。利用実績は126件ありますが、実はこのほとんどが児童館での預かりになります。何回かは送迎、自宅から保育園へ送迎だったりとか何件ありますが児童館での預かりです。
議長	提供料を超えていないので、希望者には全員供給できている。
委員	ただここにも課題としてあげていますが、提供会員さんの不足という事は、これはずっと続いていることで結局同じ方にばかりどうしてもお願いしなきゃいけない状況ではあります。
議長	新しい方をどう増やしていくかということ。前にも課題に出ていたと思います。
委員	そうですね。
議長	他にいかがですか
委員	健診の事なのですけれども、例えば乳幼児健診、3・4ヶ月健診、10・11ヶ月健診、1歳半健診、3歳児健診があって、確か前回の中でちらっと就学時健診が年長であるのですが、そのときには遅いのではないかというちょっと発達が遅れている子とか3歳では引っかからなくて就学時健診では遅いという話で、年中さん5歳児でやるって事がどうなのかという案が出たような気がするのですが、そちらの方はどうなりましたかね？
議長	どうでしょう
委員	いろいろ検討はしているのですが、今保育園の方に毎月地区担当の保健師が巡回しておりますしてその保育園で気になるようなお子さんについては3歳児健診のフォローはもちろんですけど、そうでないお子さんにつ

	<p>いても保育園の方から見て欲しいというお子さんですとかそういったお子さんについては、経過を見させていただいたりとかすこやか相談を紹介したりですとかそういった風で対応しておりますして5歳児健診については実施の方向ではないというところなのです。</p>
委員	<p>各保育園の方でやっていただいているそれで足りているというか進めているのですね。</p>
委員	<p>幼稚園の方も時々お伺いをさせていただきおりますので、幼稚園の方からの情報は市内に限るのですけど。市外の保育園の子でも通っている心配なお子さんについては、連絡が来たりしますのでそういった事路で対応しています。</p>
議長	<p>他にいかがでしょうか？この乳幼児健診元年度、102%の受診率になっているのですがこれはどういうことでしょうか？100%では？</p>
委員	<p>対象者が年度に決まっております前年度に未受診のお子さんがいたとするとそれが次の年度のぎりぎりの3月とかに受診されなかった場合次の年度受けられる事があるとオーバーすることがあります。</p>
議長	<p>他にいかがですか？</p>
委員	<p>病児病後児保育についてなのですが、利用実績223という実績なのですが、市内のおひさまと広域の福富医院とあると思うのですが、数字的にはどのような感じになっていますか？内訳は？</p>
事務局	<p>圧倒的に市外が多いです。</p>
委員	<p>今後市内にもう一つとかいう事は？</p>
事務局	<p>市内にあるのは、社会福祉協議会が設置したおひさまなのですが、病児保育について需要が高いということがあったものですからあそこも何とかやりたいということで市が助成してやっているのですが、実態としては元年度おひさま68人、岐阜市162人で社会福祉協議会と近いのに何で岐阜市へ行くのかということですが、岐阜市では病児保育というと病院併設なのです。あそこは看護師さんがいらっしゃるし鳥澤クリニックと連携していらっしゃるけど病院施設ではないということで福富医院とか病院併設の利用が多い。今後社協さんがどうしていくのか議論はしていくが、そんな状況になっている。</p>
議長	<p>どうですか？</p>

委員	今後、やはり市内にそういう病院と併設した病児保育ができるといいなあというのは多分保護者の方も考えているところではないかと思います。
事務局	先ほど市長、岐北病院の竣工式があったみたいですが、そこが改築するという話があったので実はあそこも市としては産婦人科を作ってくれとかこういうことを要望していたのですが、需要の関係からいって作らないということがあったものですから、そういうことを見越して社協として独自に作ってくれたのですが、ちょっと今後検討はしていきますが現状はせっかく作った、市内に作ったけど病院と併設でないから利用が少ないからアンケート取っていないのですが社協とはそういう認識であって今後どうしていくといいかなというのは今後の課題ではあります。
議長	結局利用する人が診断受けないと預かってもらえないということがあるから病院だと併設していれば診てもらってすぐ預けられるという便利さというのがあるから、そういうところについで預けてしまう。という形になるのだと思うのでやっぱり親の負担ということを考えれば病院併設がどこかにあればいいなあとは思っています。
委員	これ例えば市外に働きに行かれるお母さんの中にはその自分の勤務先に近いところという方もあると思うのですが数字がどれくらいかわからないですか？
事務局	その岐阜市に勤務していらっしゃる人がそちらで使うのかはそこまで追跡していない。社協の方がどれだけ分析しているかわからないですが、それも多いと思うのですが、実際はその要因よりも病院併設かという事の方が大きいのではと社協と話していますけど。
委員	私、おひさまも利用したことがあるのですが、やっぱり診断書がないと預かってもらえないというところで、子どもって朝、熱出したり夜中に熱出したりするのでそうすると朝病院へ行って長い時間待って診断受けて預けられるかというのとその日に電話して預かってくれるかという所がすごく難しく、それなら祖父母だの私が休んで結局仕事行けても半日で・・・みたいな事になってしまって利用がだんだん遠のいていくところがすごくあったので、そこが何かすごい近くで岐阜市の中心部とかそういうよくオフィス街があるようなところの近くに福富医院がみたいな所へ行こうとすると、迂回して預けていくじゃないですかすごく不便で、山県市にあると山県市を通過して出勤するのですごく便利なところにあるのに使えないみたいなそういうジレンマがある。そこを何とかするといいなということを思っています。

事務局	<p>そうですね、多分、病児保育の施設が欲しいと大勢が言っても年間使うのかと、数になると減ってしまうので成り立たないというのがあるのですが、需要がたくさんあるのは人数でいったら需要がたくさんあるのは間違いなくって利用延べ人数でいうとそこまでの需要があるかというところと難しいところで、ただですね、社協も実は今本所の移転を考えていて新しい施設を建てようとしてらっしゃるのです、そこでは例えば地域型保育なんかもどうかなって検討してしまして私どもも意見交換しているところもあるのでそういったご意見を踏まえて社協とは今後話し合いながらここでは結論出せませんが、重要な意見として今後検討してまいりたいと思います。ありがとうございました。</p>
議長	<p>他にはどうでしょうか？よろしいでしょうか？それでは進捗状況と評価についてご意見をいろいろいただいて今後の参考にさせていただきたいと思います。では次の議題のその他について、事務局よりよろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>その他について          保育園民営化関係について          ～資料 3 について説明～</p>
事務局	<p>地域型保育事業について          ～資料 3 中、山県市における地域型保育事業についてについて説明～</p>
議長	<p>以上説明ということでよろしいでしょうか、今ご説明がありましたように保育園の民営化ということ的前提に、審議会の結論を受けて検討していくということで、あともう一つ小規模保育園等の件もあるのだということで、ただいまの説明についてまずは質問等、お聞きになりたい事はありますか？</p>
委員	<p>少子化という所が問題という所で、民営化して多分民営化するということはある程度利益とか見込める事で金銭的な部分で見込めるので民営化の候補があがってくると思うのですが、山県市として少子化という所でどんどん減って行って民営化したけれどもうやっていけませんということになった時にどうするというところまで考えていらっしゃるのか知りたいです。</p>
事務局	<p>結論からいうと少子化は先ある程度読めますのでそれを視野に入れて手を挙げていただければならない、そんな無責任は所には願ひするつもりはないのですが、万が一ですね法人の事ですので、まあ山県市だってパンクしうる可能性あるのですが、民間の場合は当然自己破産とい</p>

	うことはあり得る。その時には最終的にどのような所を選択しますけども市が引き取る事は当然必要だと言うふうには認識しております。ただそれだと何のため何やっているのということもあるのでそんなところなら頼まないつもりですけど。
委員	わかりました。
議長	そのあたり、心配にはならないということ。
事務局	しゃべりすぎかもしれませんが、少子化の話で、実態ですけども、今山口市多分国勢調査をやっていますけど人口また大きく減ると思います。分析としては社会増と自然増というのがあって自然増減については間違いなく減ります。私らの親の世代が亡くなっていっていますけど私らの親の世代 5~6 人兄弟当たり前でしたのでうちの親なんか 8 人ぐらい兄弟がいたのですけど、じゃあ 8 人の兄弟がまもなく亡くなる世代になって、じゃあ今 8 人子どもさんを産んでいる市民の方がこの中にいるのかといたらまずいないので、じゃあ同じ亡くなる人と同じ数生まなければならぬということにはないので、絶対自然減少していくのは国内中、山口市も間違いのない話で、社会増減に関しては先ほど係長が触れましたが、以外と無償化を先陣切ってやったのもあって以外と減っていないどころか増えつつあるという状況にあるのと、それから未満児保育の需要が結構高くて、実は広域で連携しあっているのですが、うちの市民の人が岐阜市で働いていらっやっ岐阜市で預かってねなんですけど未満児だとお断りさせるし、うちもお断りしているのが実態で、あの待機児童なしとか言いますが、以上児の話で未満児に関しては調査でているのかな、国で・・・。多分調べたらものすごい未満児の需要は高いと思います。全国的なトレンドでいくと 6 割ぐらいかな、利用が。うちは 4 割の人が利用していらっやるのかな。だからまだまだですねできれば需要が高い。そういうことも見据えてもちろん子どもさんが今本当にあの今 10 年 20 年ぐらい前の半分ぐらいしかここで生まれている子どもさんいないので、それも見据えながらこういった潜在的なニーズとかそこも見据えながら手を挙げていただきたいし、私どものそれ視野にしてきちんと責任持った行政をやっていききたいなあとと思っています。
議長	他にはいかがでしょうか？

委員	先の小規模児相談事例というので具体的に手を挙げて下さっている所があるという話の中で、連携保育所というのがちょっとわからなくて理解が難しかったのですが、連携保育所というのがあると例えば未満児の間預かってもらって以上児になったタイミングでそのどちらかの保育所に入れると思って大丈夫ですか？
事務局	そういうことです。
議長	都会では入れない人がいて、結局この未満児の所には入ったけれども、そのあと行き場がないというのが問題になっているのですよ。でもまあ3歳以上になってくると人数も増えるのでその空き所で必ず入れますよという連携をきちんとしてもらわないとやっぱり預ける方も不安だと思いますが、まあその点は連携できるようにお願いしたいなと思います。
委員	連携保育園があるからといってでも例えば高富保育園で未満児として預かってもらいたいのですということであればその辺は保護者の方が、まあ入れないという場合ももちろんあると思うのですが、選択ができるとしてもいいですかね、連携保育園に未満児でお願いしたけど連携している所あるのでこっちへお願いします。という流れにはならないでしょうか。
事務局	今現状がなんとかお答えする例は少ないのかな、ただこれから増えるともうお断りしないといけなくなっちゃうものですから、供給できるキャパが行政だけでは厳しいので、民間さんもやってもらえれば、民間さんでもいいし、公立の所で受けてもいいよというように選択肢が増えてくるので、なんとか私どもとしては、行政だけでなく民間さんでもサービスがあると親さんが選んでいただけるかな。以上児になると何でいいのとなると、ご存じだと思いますが、0歳児だと1人の保育士で預かれるのは3人、年長児だと30人に1人、預かれる、だから施設の建物のキャパじゃなしに、保育士を今私ども一所懸命確保しようと思っているのですが、以上児だと1人保育士さんがいると30人も預かれるのに、小さい子が例えば5人それこそ30人どころか10人預かろうと思ったら、保育士が何人いる、ものすごいことになって保育士の確保ができないというのがあるので、以上児の方は連携さえきちんとコンセンサスを取っておけば大丈夫と。ただ未満児についてはこれから実質的な待機児童みたいになっちゃうと出てくるので、その前に何とか対策したいなという思いです。
事務局	今までは保育園7園ありまして、0歳～5歳まで預かる保育園7園あり

	<p>ます。今回、未満児保育というのが小規模保育というのは、0歳～2歳までの保育園になりますので、その部分に関しては8カ所になることとなります。それで保育園に入るシステムとして、市役所に申し込む事となります。小規模保育であっても公立の保育園であってもまず市役所申し込んで、第3希望までするのですが、そこで市役所が調整する事となりますので、保育の必要性というのは人それぞれありますので、それを順位づけて実は配分していくわけですけど、この未満児保育に人気があれば当然あぶれることとなりますので、2位である例えば公立保育園の未満児に行くこととなりますし、その逆で高富保育園とかの未満に入りたくても入れないので2位であった小規模の方に入るということは当然あり得るということとなります。</p>
委員	<p>ちなみに幼稚園の場合は、以上児30人までとなります。法律上保育園とは違ってきます。</p>
議長	<p>いかがですか？</p>
委員	<p>大変勉強になりました。先ほどおっしゃられた小学校の方での子どもたちが幸せなのかというのは、幸せ度はなかなか計り知ることにはできないし、学校としたら前にみえています校長先生なんか特にそれを思っておられると思いますし、現場で子どもを見ながら本当に困り感のある子どもといったらいいのか、日々の様子を調べながら手厚くできるだけ手厚くやるというのが学校でも重要になっているので、まあこういう保育園、幼稚園と学校への連携というのを絶えずやっていくわけですがけど、今後もこういう連携をさらに強めていきます、以上です。</p>
議長	<p>どうですか</p>
委員	<p>やはり1番は子どもの事を一番考えつつ、環境だと思うのです。保護者のニーズに応じていかないといけない事が今後の課題にはなるので、今も行政も動いているという形ですし、現場ではやはりただ預かるだけじゃなく保育士の質も高めていかなければいけないと、子どもの成長に比例していかないというのは現場でもあるので、やはりこういう民営化という形で、保育士も危機感を持って自分自身のハードルというかそういうものも向上していかないといけないなということで現場でもこういう話はしていますので、子どもたちに1番いいように行政に動いてもらっているんで現場も頑張っています。</p>
議長	<p>いかがでしょうか。</p>
委員	<p>私は4月からあまり詳しくはないのですが、放課後児童クラブでもいろんなお子さんとかも関わったりするのですが、支援員の方とか児童館の職員の方も、皆さんのよこされるニーズに合うように研修等に参加</p>

	<p>させていただいて皆さんのニーズに応えられるよう研修等に参加させていただくといくということで職員も支援員も頑張っています。</p>
議長	<p>いかがですか</p>
委員	<p>私たちお子さんに関わっていて、けっこう支援がすごく必要な人に目がいきがちなのですが、中には子育てしているお母さん達は多くいらっしゃるの、特に普通に子育てというかあまり関わる事がないお母さんへの支援というのも少し私たちの中でも課題ではあるということがありましたので、そういった事で、そういった方達にも情報提供ですとかいろんな事がしていけるといいかなというふうに思っていますので、そういうことが健やかに、皆さんどのお母さんお子さんにも支援をしていけたらいいなと思いました。</p>
議長	<p>それでは、今、その他の民営化、小規模保育等につきまして、他に何かありますか、よろしいでしょうか。こういう形で進めていただくということでよろしくお願ひします。そのほかはよろしいでしょうか。そろそろ時間が過ぎておりますので、事務局の方にお返しします。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>今の時代、会議はなるべく短時間でということで1時間40分もかかっちゃいました、私ども説明が長すぎて申し訳ないなと思っています。この場で出尽くさなかった意見あると思いますので、冒頭何度も言っておりますので、ご意見、忌憚のないご意見をメールなり電話なりこのままあと残ってでもけっこうですので忌憚のないご意見は承りたいと思います。次回になりますけれど、まだ予定が立っておりませんが、また改めて早ければ年末12月になるのか年明けになるのかわかりませんがもう一回開きたいと思いますのでそれまでにお気づきの点があったらメモっていただいてその場でご意見をいただけるようにというふうに思っています。よろしくお願ひします。特に今年度はですね、あんまり自分しゃべりすぎてあかんのですが、国の方のコロナ支援ということで、今度、総理大臣かわりましたけど、実は今がチャンス、自分たち本当は何というのですか放課後児童クラブなんかでも、支援員さんが大変疲弊していてシフト組むのが大変でいう愚痴が言いたくなることばかりなのですが、その中であってお金がくるというのがあって、今までできなかったやつコロナで便乗してこの際買おうということで、国の方8月で概算予算を締め切ったのですが、私の所は年末やりますが、多分来年度予算はものすごく厳しいです。今年は何ものすごい予算がくるのです。今のうちにもれなく課員で、あと後悔ないようにという事なので、特に今年度は皆様方からこういう事するといいいよというのがあれば実現しや</p>



	すい、来年度はなかなかお金がかかるものに関しては厳しいので是非こんな事がいいよという意見があったら早めに言っていただけると来年度以降実現するかなと思いますのでよろしく。また案内致しますのでそれまでに意見をためていただいてメモっていただけるとまたご意見いただけるかと思います。すみません、今日は長時間ありがとうございました。
会長	パブリックコメントもありますので、そちらにも書いていただければいいのですよね。
事務局	もちろんいいです。
会長	長びいてしまいましたが、ありがとうございました。